専門学校大阪ホスピタリティ・アカデミー　情報公開資料

１.学校の概要

建学の精神

学校法人 21 世紀アカデメイア 専門学校大阪ホスピタリティ・アカデミーは、1985 年に大阪ビジネスカレッジ専門学校の観光専門課程を分離独立して設立され、2024 年に現校名へと変更を行う。観光・ホスピタリティ業界へ多くの人材を輩出しており、現在は 11 学科を設置している。『入学者全員が卒業・業界就職』をキャッチフレーズに、充実した学生生活と就職指導に力を入れ、業界で活躍する人材育成を目標にしている。

－21 世紀アカデメイア　教育の理念－

ひとりでも多くの学生に心のふれ合いと、あらゆる技術を向上させ最大の満足を提供する。そして学園の繁栄、職員の幸福、地域社会への貢献を目指す。

<設置目的>

教育基本法及び学校教育法に従い、専修学校教育を行い、実社会に役立つ知識・技能をもった人材を育成することを目的とする。

所在地・校長名

【所在地】

●本校舎　大阪府大阪市北区堂島 2-3-11

【校長名】

●柴田 悠太

沿革・歴史

1958 年（昭和 33）　大阪デザイン研究所 設立

1961 年（昭和 37）　大阪デザイナー学院 設立

1966 年（昭和 41）　大阪写真専門学校　設立

1968 年（昭和 43）　大阪デザイナー学院 学校法人認可

1972 年（昭和 47）　大阪写真専門学校 設置認可

1977 年（昭和 52）　大阪デザイナー専門学校（旧大阪デザイナー学院）専修学校認可

1982 年（昭和 57）　大阪ビジネスカレッジ専門学校 認可設立

1984 年（昭和 59）　大阪デザイナー専門学校 堂島新校舎完成

1985 年（昭和 60）　大阪観光専門学校 設置認可

（大阪ビジネスカレッジ専門学校 観光専門課程を分離独立）

1994 年（平成 6）　ビジュアルアーツ専門学校（旧大阪写真専門学校）校名改称

1999 年（平成 11）　ビジュアルアーツ専門学校 新校舎完成

2001 年（平成 13）　トレーニングセンター（実習棟）完成

2005 年（平成 17）　法人名改称 大阪安達学園（旧大阪デザイナー学院）

2011 年（平成 23）　大阪デザイナー専門学校（大阪デザイナー学院）創立 50 周年

2017 年（平成 29）　法人合併に伴い、東京安達学園

2017 年（平成 29）　法人合併に伴い　Ａｄａｃｈｉ学園

2024 年（令和 5）　法人名改称 21 世紀アカデメイア（旧Ａｄａｃｈｉ学園）

2024 年（令和 5）　学校名改称 専門学校大阪ホスピタリティ・アカデミー
（旧大阪観光専門学校）

２.各学科等の教育

設置学科の入学定員・収容定員（2024 年度）

課程	学　科	修業年限	昼夜	入学定員	総定員	備考
観光専門課程	旅行学科	2ヶ年	昼間部	60	120	
	鉄道サービス学科	2ヶ年		120	240	
	エアライン学科	2ヶ年		40	80	
	ホテル学科	2ヶ年		80	160	
	ブライダル学科	2ヶ年		60	120	
	ビューティ学科	2ヶ年		40	80	
	葬祭ディレクター学科	2ヶ年		20	40	
	グローバル語学学科	2ヶ年		40	80	
	韓国語学科	2ヶ年		120	240	
	観光ビジネス学科	2ヶ年		40	80	留学生のみ
	IT 観光学科	2ヶ年		40	80	
	合計			660	1320	

教育内容・教育目標

■旅行学科[2年制]

旅行業界に必要な資格取得と、入学後に旅行業界の基礎を固めてから希望の分野に分かれ、より深い知識と技術を持ったプロを目指します。

■鉄道サービス学科[2年制]

鉄道業界に必要な知識や技術だけではなく、お客様とのコミュニケーション力や、外国のお客様への応対に必須である語学力の向上を目指します。

■エアライン学科[2年制]

航空業界で活きる英語力を身につけるため、少人数制で中身の濃い授業を実施。航空現場で働くプロ、実務経験のある教員から学ぶ実践的な授業を展開しています。

■ホテル学科[2年制]

すべてのお客様に通用するハイレベルな接客マナーと、心の行き届いたサービスを習得出来るよう、実際のホテルで研修を多用するなど即戦力を育成します。

■ブライダル学科[2年制]

婚礼全般から、ドレス、フラワー、フォト知識までの幅広い知識を習得するだけでなく、校内設置のブライダルサロン、ドレス試着室、バンケットルームの実習室にて実践的な技術も磨きます。

■ビューティ学科[2年制]

ヘアメイク、スタイリング、エステ、ネイルのプロを輩出する本学科では、美容の知識・技術を基礎から身につけ接遇の技を磨きます。

■葬祭ディレクター学科[2年制]

葬儀の知識や現場での対応力、資格・経験以外にもご遺族様の要望をくみ取り、寄り添っていける高いコミュニケーション力を学習により身に付けます。

■グローバル語学学科[2年制]

英語や韓国語・中国語を基礎から学ぶだけでなく、旅行・ホテル・エアラインなど語学力を活かせる専門授業を展開。学生個々の可能性を拓いていきます。

■韓国語学科[2年制]

韓国語を基礎から学び、コース選択によっては韓国の大学へ留学、編入も可能で隣国の文化へ理解を深め、帰国後には韓国語を活かした就職を目指します。

■観光ビジネス学科[2年制]

日本で働くことを目指す留学生に特化した学びを展開。日本語を学ぶだけでなく、おもてなし、観光、サービスに必須となる専門知識、技術と、日本語能力試験１級の取得を目指します。

■IT 観光学科[2年制]

DX 化が進む旅行業界において企画、立案といった業務知識に加えて、WEB サイトやデジタルコンテンツで魅力的に発信、販売促進、プロモーションスキルを習得していきます。

進級・卒業の要件等

【成績評価基準】

●定期試験：各学期末にそれぞれ試験期間を設け、試験用の時間割によって実施する。ただし、科目によって平常授業中に実施されるものや、レポート提出によって評価されるのもある。

●成績評価：成績評価は、A（100～80 点）B（79～70 点）C（69～60 点）D（59～0 点）で評価を行う。

●単位認定基準：

①成績評価　60 点以上（C）以上　/　②出席率　　70％以上（端数切り捨て）

●追試験：病気、忌引き、就職試験等の正当な理由（公欠）で試験を欠席し、欠席届を提出した者は試験の機会を与える。

●再試験対象者：定期試験受験者で不合格になった者及び欠席者。但し、再受験可能教科は出席率 70％以上（端数切捨て）を越える教科に限る。

●各種検定試験（特別単位）：本校が定める国家試験及び、検定試験の合格者には所定の特別単位を認定する。

●企業実務研修（特別単位）：本校が認める企業でアルバイト、実務研修を行う場合や、就職内定後の求めにより就労する場合には、就労日数に応じて、又は研修レポートを提出することで所定の特別単位を認定する。

【卒業規定】

●卒業時の取得単位が、108 単位以上に達している者。

●所定の学費を完納していること。

【専門士】

●2 年制課程以上の修了者は専門士（商業実務専門課程）の称号が授与される。

学習の成果として目指す資格・検定

資格名	実施機関
日本漢字能力試験	(財)日本漢字能力検定協会
TOEIC	(財)国際ビジネスコミュニケーション協会
実用英語技能検定	(財)日本英語検定協会
観光英語検定	全国語学ビジネス観光教育協会
ビジネス能力検定ジョブパス	(財)専修学校教育振興会
漢語水平考試	中国国家 HSK 委員会
中国語検定試験	日本中国語検定協会
韓国語能力試験	韓国教育財団
ハングル能力試験	ハングル能力検定協会
硬筆書写検定	(財)日本書写技能検定協会
全国手話検定試験	(社福)全国手話研修センター
サービス介助士	(公財)日本ケアフィット共育機構
ユニバーサルマナー検定	(一社)日本ユニバーサルマナー協会
日本語能力試験	(公財)日本国際教育支援協会

総合旅行業務取扱管理者	(一社)日本旅行業協会
国内旅行業務取扱管理者	(一社)全国旅行業協会
総合旅程管理主任者	(一社)日本添乗サービス協会
国内旅程管理主任者	(一社)日本添乗サービス協会
旅行地理検定(日本・世界)	旅行地理検定協会
世界遺産検定	NPO 法人　世界遺産アカデミー
レストランサービス技能検定	(社)日本ホテル・レストランサービス
ホテル実務技能検定試験	サーティファイホテル実務能力認定委員会
未生流	(財)未來流会館
和装着付認定(自装)	大阪ホスピタリティ・アカデミー
和装着付認定(振袖他装)	大阪ホスピタリティ・アカデミー
和装着付認定(留袖他装)	大阪ホスピタリティ・アカデミー
WBJ 認定ドレスコーディネーター検定	(株)ジャスマック ウエディングスピーディ フル
ブライダルコーディネート技能検定	
パーソナルカラリスト検定	(一社)日本パーソナルカラリスト協会
ジュエリーコディネーター検定 3 級	(一社)日本ジュエリー協会
ネイリスト技能検定	日本ネイリスト協会
メイクアップ技能検定	大阪ホスピタリティ・アカデミー
アロマテラピー検定	(公社)日本アロマ環境協会
日本化粧品検定	日本化粧品検定協会
和食検定	日本ホテル教育センター
HBA ビバレッジアドバイザー	(一社)日本ホテルバーメンズ協会
HBA バーテンダー(ジュニア)	(一社)日本ホテルバーメンズ協会
マナープロトコール検定	日本マナー・プロトコール協会
フラワー装飾技能検定	都道府県職業能力開発協会
葬祭ディレクター技能審査	葬祭ディレクター技能審査協会
インフィニ検定	(株)インフィニトラベルインフォメーション
サービス接遇検定	(公財)実務技能検定協会
ホテルビジネス実務検定	(一財)日本ホテル教育センター
IT パスポート試験	情報処理推進機構
情報セキュリティマネジメント試験	情報処理推進機構
(MOS)Word 2019	オデッセイコミュニケーションズ
(MOS)Excel 2019	オデッセイコミュニケーションズ
(MOS)Power Point 2019	オデッセイコミュニケーションズ
ビジネス実務マナー検定	(公財)実務技能能力検定協会
エステ技能検定	大阪ホスピタリティ・アカデミー

就職指導

【就職指導体制】

キャリアセンターでは、学生一人ひとりに対して、希望する業界・職業に向けての指導を行っている。それは入学前の進路相談から始まり、卒業まで様々な活動で進路指導を行っている。また、卒業生や業界とのネットワークを活かした企業研究を行い、時代に適応した求人企業を用意するなど学生の夢を実現させるサポート体制が整っている。

3.教職員

教職員数

区　分	専任	兼任	計
校　長	1	0	1
教　員	12	50	62
助　手	0	0	0
事務職員	7	1	8
校　医	0	0	0
合　計	20	51	71

4.キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取組状況

キャリア教育科目を 1 年次より導入し就労意識と社会人基礎力の育成を図っている。また、企業連携授業、インターンシップ、現場視察など教室外での現場主義による実践教育で成果を上げている。

５.教育活動・教育環境

学校行事

4 月　　入学式・オリエンテーション

5 月　　富士五湖・サミット（全国アカデメイア姉妹校）

6 月　　ロサンゼルス・サミット（全国アカデメイア姉妹校）

9 月　　国家試験

11 月　　クロスオーバー・サミット（大阪アカデメイア姉妹校）

12 月　　業界 EXPO（全国アカデメイア姉妹校）

2 月　　業界別コンテスト（ホスピタリティ・アカデミー姉妹校）

3 月　　卒業式

オンライン授業

●オンデマンド講座の運営

全国共通の映像コンテンツで主に資格・検定に向けた選位授業を展開。

6.学生への支援活動

学生支援

●就職に関する支援体制

担当がカウンセリングにより希望企業を確認し、キャリアセンターがその企業へアプローチし、インターンシップをお願いし可能であれば就職へ結びつける。

●学生相談に関する支援体制

学生相談に関しては、担当制を取っており、定期的なカウンセリングと状況確認、就職希望調査を行なっています。随時個人的な質問にも対応できる体制を取っている。

●学生の経済的側面に対知る支援体制

学生の経済的側面に対する支援対策に関しては、「日本学生支援機構奨学金」による申込みをメインとして薦めている。希望者全員貸与できている状況である。また学習支援制度を設けており学生の経済的側面のサポート体制を構築している。

●学生寮等、学生の生活環境への支援体制

学生寮等、学生の生活環境に関しては、提携寮があり、学校と寮管理者で学生の状況を把握し、学生が快適に生活できるように努めている。

●保護者との支援体制

保護者との連携に関しては、入学式後、保護者会を実施しており、その中で心配な事、問題を抱えている事を担当に相談してもらい今後の学生の支援を行なっている。また、問題があれば保護者と連絡を取りながら改善に努めている。

●卒業生への支援体制

卒業後15年間のキャリアサポートを行う体制で就職支援を行っている。

●学習支援制度

学務教員による個人面談を定期的に実施し、インターネットメールなども併用して、学生の疑問や悩みに答えている。

7.学生納付金・修学支援

学生納付金（初年度）

学科名	昼夜	入学検定料	入　学金	授　業料	施設整備費	合計
旅行学科	昼	20,000	160,000	880,000	220,000	1,260,000
鉄道サービス学科	昼	20,000	160,000	880,000	220,000	1,260,000
エアライン学科	昼	20,000	160,000	880,000	220,000	1,260,000
ホテル学科	昼	20,000	160,000	880,000	220,000	1,260,000
ブライダル学科	昼	20,000	160,000	880,000	220,000	1,260,000
ビューティ学科	昼	20,000	160,000	880,000	220,000	1,260,000
葬祭ディレクター学科	昼	20,000	160,000	880,000	220,000	1,260,000
グローバル語学学科	昼	20,000	160,000	880,000	220,000	1,260,000
韓国語学科	昼	20,000	160,000	880,000	220,000	1,260,000
観光ビジネス学科	昼	20,000	160,000	880,000	220,000	1,260,000
IT 観光学科	昼	20,000	160,000	880,000	220,000	1,260,000

●合計金額は入学検定料除く

●授業料については前期・後期の分納

経済的支援措置

●日本学生支援機構の奨学金制度

●各新聞社の新聞奨学生制度

●提携ローン会社の教育ローン

●日本政策金融公庫の教育ローン

●本校独自の奨学金制度

●修学支援新制度

8.学校の財務

財務情報に関しては下記 URL の Adachi 学園全体の資料でご確認ください。

https://www.akademeia21.com/financial/

9.学校評価

自己評価・学校関係者評価の結果

●自己点検･自己評価の問題点の改善について
自己点検・自己評価は平成 24 年度から実施しており、学校関係者評価委員会にて点検評価を行い改善に役立てている。

●学校関係者評価委員会 開催日：令和６年３月 15 日(金)

自己点検・学校関係者評価

評価項目	大変適切…5　適切…4　ほぼ適切…3 やや不適切…2　不適切…1	
基準１　教育理念･目的･育成人材等	**自己評価**	**学校関係者評価**
1-1　理念･目的･育成人材像は定められているか	5 (4) 3 2 1	5 (4) 3 2 1
1-2　学校の特色は何か	5 (4) 3 2 1	5 (4) 3 2 1
1-3　学校の将来構想を抱いているか	5 (4) 3 2 1	5 (4) 3 2 1

基準２　学校運営	**自己評価**	**学校関係者評価**
2-4　運営方針は定められているか	5 (4) 3 2 1	5 (4) 3 2 1
2-5　事業計画は定められているか	5 (4) 3 2 1	5 (4) 3 2 1
2-6　運営方式や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか	5 4 (3) 2 1	5 (4) 3 2 1
2-7　人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	5 4 (3) 2 1	5 (4) 3 2 1
2-8　情報システム化等による業務の効率化が図られているか	5 4 (3) 2 1	5 (4) 3 2 1

基準３　教育活動		
3-9　各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界のニーズに向けて正しく方向づけされているか	5 (4) 3 2 1	5 4 (3) 2 1
3-10　修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	5 (4) 3 2 1	5 (4) 3 2 1
3-11　カリキュラムは体系的に編成されているか	5 4 (3) 2 1	5 4 (3) 2 1
3-12　各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けされているか	5 4 (3) 2 1	5 4 (3) 2 1
3-13　キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	5 (4) 3 2 1	5 (4) 3 2 1
3-14　授業評価の実施･評価体制はあるか	5 4 3 (2) 1	5 4 3 (2) 1
3-15　教育目標に向け授業を行う事ができる要件を備えた教員を確保しているか	5 4 3 (2) 1	5 4 3 (2) 1
3-16　成績評価･単位認定の基準は明確になっているか	5 4 (3) 2 1	5 4 (3) 2 1
3-17　資格取得の指導体制はあるか	5 (4) 3 2 1	5 (4) 3 2 1

基準 4　教育成果	自己評価	学校関係者評価
4-18　就職率（卒業者就職率･求職者就職率･専門就職率）の向上が図られているか	5 (4) 3 2 1	5 4 (3) 2 1
4-19　資格取得率の向上が図られているか	5 (4) 3 2 1	5 (4) 3 2 1
4-20　退学率の低減が図られているか	5 (4) 3 2 1	5 (4) 3 2 1
4-21　卒業生･在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	5 4 (3) 2 1	5 4 (3) 2 1

基準 5　学生支援	自己評価	学校関係者評価
5-22　就職に関する体制は整備されている	5 (4) 3 2 1	5 (4) 3 2 1
5-23　学生相談に関する体制は整備されているか	5 (4) 3 2 1	5 4 (3) 2 1
5-24　学生の経済的側面に対する支援体制は整備できているか	5 (4) 3 2 1	5 4 (3) 2 1
5-25　学生寮等、学生の生活環境への支援は行なわれているか	5 4 (3) 2 1	5 4 (3) 2 1
5-26　保護者と適切に提携しているか	5 4 (3) 2 1	5 (4) 3 2 1
5-27　卒業生への支援体制はあるか	5 4 (3) 2 1	5 4 (3) 2 1

基準 6　教育環境	自己評価	学校関係者評価
6-28　施設･設備は教育上必要性に十分対応できるよう整備されているか	5 4 (3) 2 1	5 (4) 3 2 1
6-29　学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	5 4 (3) 2 1	5 (4) 3 2 1
6-30　防災に対する体制は整備されているか	5 4 (3) 2 1	5 4 (3) 2 1

基準 7　学生の募集と受け入れ	自己評価	学校関係者評価
7-31　学生募集活動は、適正に行われているか	(5) 4 3 2 1	5 (4) 3 2 1
7-32　入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行なわれているか	5 4 (3) 2 1	5 (4) 3 2 1
7-33　学納金は妥当なものとなっているか	5 (4) 3 2 1	5 (4) 3 2 1

基準 8　財務	自己評価	学校関係者評価
8-34　中長期的に学校の財務基盤は安定しているものといえるか	5 (4) 3 2 1	5 (4) 3 2 1
8-35　主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	(5) 4 3 2 1	(5) 4 3 2 1
8-36　年度予算、中期計画は、目的･目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	(5) 4 3 2 1	(5) 4 3 2 1
8-37　予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5 (4) 3 2 1	5 (4) 3 2 1
8-38　財務について会計監査が適正に行なわれているか	(5) 4 3 2 1	(5) 4 3 2 1
8-39　会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	5 (4) 3 2 1	5 (4) 3 2 1

8-40　私立学校法における財務情報公開の体制整備は出来ているか	⑤ 4 3 2 1	⑤ 4 3 2 1
8-41　私立学校法における財務情報公開の形式は考えているか	⑤ 4 3 2 1	⑤ 4 3 2 1

基準 9　法令等の遵守	自己評価	学校関係者評価
9-42　法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5 ④ 3 2 1	⑤ 4 3 2 1
9-43　個人情報に関して、その保護のための対策がとられているか	5 ④ 3 2 1	5 ④ 3 2 1
9-44　自己点検･自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	5 ④ 3 2 1	5 ④ 3 2 1
9-45　自己点検･自己評価の結果を公開しているか	5 ④ 3 2 1	5 ④ 3 2 1

基準 10　社会貢献	自己評価	学校関係者評価
10-46　学校の教育資源や施設を利用した社会貢献を行なっているか	5 4 ③ 2 1	5 4 ③ 2 1
10-47　学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	5 4 ③ 2 1	5 4 ③ 2 1

10.学園理事

設　置　者　の　理　事　名　簿

設置者の理事名簿　　令和６年6月28日現在

役員（理事・監事）の氏名等

	役職名	氏　名	任　期	主な職業
1	理事長	田坂広志	R６年３月29日～R７年８月４日	学校経営
2	理　事	植田宏美	R３年８月４日～R７年８月４日	学校職員
3	理　事	高橋奈帆	R４年12月８日～R７年８月４日	学校職員
4	理　事	齋藤浩一	R５年12月20日～R７年８月４日	学校職員
5	理　事	長尾大樹	R６年２月15日～R７年８月４日	学校職員
6	理　事	木村新太郎	R６年２月15日～R７年８月４日	学校職員
7	理　事	南野想	R６年３月20日～R７年８月４日	学校職員
8	理　事	稲場央人	R６年３月22日～R７年８月４日	学校職員
9	理　事	加藤尚美	R３年８月４日～R７年８月４日	会社経営(外部)
10	理　事	鴨志田晃	R６年６月28日～R７年８月４日	大学教授(外部)
1	監　事	高野善生	R３年８月４日～R７年８月４日	税理士
2	監　事	西村実	R５年６月１日～R７年８月４日	会社経営(外部)